


**平成30年度進行管理・評価シート**  
**甘楽町歴史的風致維持向上計画（平成22年3月30日認定）**  
（最終変更平成31年3月18日）

**□進捗評価シート(様式1)**

①組織体制(様式1-1)		
1 計画推進に向けた庁内の連携体制	.....	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	.....	—
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 名勝楽山園周辺修景整備事業	.....	2
2 雄川堰整備事業	.....	3
3 織田氏七代の墓整備事業	.....	4
4 案内板等整備事業	.....	5
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の保存・防災	.....	6
2 文化財の普及・啓発	.....	7
3 重点区域における伝統的建造物群保存 地区の制度の導入に向けた取組み	.....	8
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 「七代の墓」周辺 公園整備し観光客誘致 ほか	.....	9,10
⑥その他(様式1-6)		
1 施設整備後の活用と歴史文化啓発に 関する事業	.....	11
<b>□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)</b>	.....	12

評価軸①-1 組織体制		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
計画推進に向けた庁内の連携体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	甘楽町歴史的風致維持向上計画推進会議及び同計画推進プロジェクトチーム、各事業者との連携を図りながら適切に計画を推進する。計画掲載事業の進捗状況の確認、評価を行い、定期的な報告、意見の聴取等を実施し、実効性を高めるとともに、必要に応じた計画変更を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
建設課、産業課、企画課及び社会教育課からなる甘楽町歴史的風致維持向上計画策定委員会・専門部会及び庁内各部署からの意見聴取により事業の進捗管理・評価について協議を行った。特に重点区域内で実施されている事業並びに今後実施が予定される事業については、まち歩きを実施しながら町の歴史的風致の維持及び向上のための施策への理解と今後の事業展開に対する提案のとりまとめを行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	各部署との連携・調整、庁内横断的な意見聴取による体制強化を今後も図っていく。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 2px solid #808000; padding: 10px; width: 45%;"> <p>組織体制(H29. 4)</p> <p>【企画課】 企画調整係:3名</p> <p>【建設課】 都市計画係:4名 建設係:3名</p> <p>【産業課】 商工観光係:4名</p> <p>【社会教育課】 文化財保護係:3名</p> <p>【その他部局】 行政、財政担当ほか</p> </div> <div style="font-size: 2em; margin: 0 20px;">➔</div> <div style="border: 2px solid #808000; padding: 10px; width: 45%;"> <p>組織体制(H30. 4)</p> <p>【企画課】 企画調整係:3名</p> <p>【建設課】 まちづくり推進室:1名 都市計画係:3名 建設係:3名</p> <p>【産業課】 商工観光係:4名</p> <p>【社会教育課】 文化財保護係:3名</p> <p>【その他部局】 行政、財政担当ほか</p> </div> </div>			
		<p><b>甘楽町歴史的風致維持向上計画に係る会議等開催状況</b></p> <p>&lt;策定委員会専門部会&gt; 今年度の事業推進について ・平成30年5月2日</p> <p>&lt;推進協議会&gt; ・平成31年3月5日</p>	
<p>■ 推進協議会(H31.3.5)</p>			

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成30年度 現在の状況
項目		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間		平成28年度～令和元年度	
支援事業名		社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)	
計画に記載している内容	名勝楽山園周辺の景観保全のための修景整備を図るとともに、休息施設等の交流の場を設けることで来訪者との交流を推進し、他施設との回遊性の向上を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成30年度は、名勝楽山園の周辺、中小路から御殿前通りにかけて2基1対のベンチを9箇所に設置。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		回遊性及び景観の向上のため、事業箇所を広げて整備を進めていきたい。	
状況を示す写真や資料等			
■事業着手前 		■整備後 	
			

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
雄川堰整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～令和元年度

支援事業名 農山漁村地域整備交付金(地域用水環境整備事業)

計画に記載している内容 町の歴史的風致の中核をなす雄川堰(大堰)の石積み改修を行うことにより、雄川堰の保存・活用を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成30年度は、重点区域内の雄川堰の石積み・進入路橋の修繕を行い、景観の維持に努めた。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

住民の洗い場等の修繕に寄せる期待は大きい。また、地元説明会等を通じて、雄川堰の資産価値を啓発していく必要性などの意見も寄せられている。雄川堰に架けられた橋の修復には、設置位置などを含め、景観に配慮したものとしていくため、住民との協議が大切となってくる。

状況を示す写真や資料等

■事業着手前

■整備後



評価軸③-3 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成30年度 現在の状況
項目			
織田氏七代の墓整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成28年度～令和元年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(H27～R1:都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	織田氏七代の墓は、城下町小幡の歴史やまちの成り立ちを知る上で重要な場所である。しかし現状では、墓周辺はほとんど整備がなされておらず、景観的にも煩雑な状況となっている。 当該エリアを「織田公公園」として整備することで、町指定文化財である織田氏七代の墓の活用と周辺の良い景観形成が図られる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成30年度は、主に織田式塀新設、便益施設整備、林内整備、階段整備工事を実施した。令和元年度末完成に向けて引き続き整備工事を進めていく。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	公園として整備していくが、指定史跡である織田氏七代の墓の風致を損なわないような整備に努めていく。		
状況を示す写真や資料等			
■事業着手前		■整備後	
			
			
■整備計画図			
			

評価軸③-4  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
案内板等整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～令和元年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(H27～R1:都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 歴史的建造物の周辺等、重点区域の主要な地点に案内板や情報板を設置することにより、住民や来訪者が建造物への理解を深めることができるとともに、散策ルートの設定等と併せ歴史的風致の拠点を巡る回遊性の高いネットワークの形成が図られる。このことにより多くの人が甘楽町の歴史的風致に対する認識を深め、歴史的風致の維持向上に寄与する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成30年度は名勝楽山園の東に近接した用地について、観光案内サイン・楽山園案内パネルを設置し、重点区域内の雄川堰沿いに雄川堰かんがい施設遺産説明版を設置した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

令和元年度は織田公園内に案内板の設置を予定しており、歴史的風致に対する認識を深めるためにも、今後は事業箇所を広げて整備を進めていきたい。

状況を示す写真や資料等

■観光案内サイン



■楽山園案内パネル



■雄川堰かんがい施設遺産説明版



■設置箇所



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	

文化財の保存・防災・防犯

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容  
 文化財は、当町の歴史や文化を正しく理解するために必要なものであるとともに、地域の歴史や文化を発信するための貴重な資源である。このため、文化財を適切に保存しつつ、活用を図ることは重要なことであるため、積極的に推進する。  
 甘楽町防災計画や総合計画を基本に、防災・防犯体制を整えるものとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「国指定名勝楽山園消防計画」を策定(平成26年6月5日)したほか、消防団による文化財周辺の水利確認や夜間の警戒巡視による予防消防に努めると共に、有事の際に備えた地域防災訓練を町内で実施している。文化財近隣においては、自治会住民による消防援助隊も組織されており、地域全体で文化財を保存していく活動により住民意識の向上が図られた。その他、町では(毎年)1月26日の文化財防火デーに合わせて、文化財に関わる職員の防火訓練を実施し、防災意識の向上を図っている。また、地域で保管管理する重要無形民俗文化財の修繕、新調などの支援により、文化財の保護・継承にも成果を上げた。  
 文化財を保管している主要施設については警備会社により厳重に管理し、職員との緊急の連絡体制も築いている。また、職員による定期的な見回りを実施し、文化財やその周辺状況を確認するとともに、所有者へも管理に対する注意喚起を行い、防犯意識の向上が図られた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	なし

状況を示す写真や資料等

■重要無形民俗文化財用具修繕(平成30年10月)  
 「天引の獅子舞及び神楽舞」



■消火訓練(平成31年1月24日) / 名勝楽山園にて  
 消火器具の使用法講習を受け、訓練に当たる住民と施設職員。今年度は新たに、ボランティア楽山園友の会も参加。



## 評価軸④-2

## 文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
文化財の普及・啓発		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	<p>現在、ほとんどの指定文化財には、広く文化財に対する理解を得るため説明板を設置している。また、『甘楽町の文化財』などの啓発的な冊子を頒布して住民への周知を図っている。一般公開されていない指定文化財は、所有者と協議し、期間限定で公開するなどの従来行っていなかった方法を模索し活用を進めている。</p>		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>地域の財産である文化財を住民とともに守り継承するため住民ボランティアを募集し、研修を通じて啓発に努めた。また、町指定文化財に理解を深めてもらうため名勝楽山園の夜間特別公開などを実施。また、毎年11月3日に民俗芸能大会を開催し、古くから伝承されている重要無形民俗文化財の発表の場を設けている。なお、文化財の活用については、文化財ボランティア組織等と協力し文化財の一般公開を進めるとともに催事等においてもその舞台として積極的な利活用を図った。一般を対象に募集した文化財めぐりが好評であったほか、教職員文化財めぐりは、町内小中学校の教職員が生徒・児童に対して、町の歴史、文化を身近な教材として紹介できる様にする事で、普及活用できた。</p>			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		なし	
状況を示す写真や資料等			
		<p>■名勝楽山園「御殿のお月見会」</p> <p>文化財理解を深めるため、夜間特別公開 (琴、篠笛の演奏会を開催)</p> <p>平成30年9月24日 入場者数約778人</p>	
		<p>■民俗芸能大会</p> <p>獅子舞、神楽舞など、11団体、245人が出演し伝統芸能を披露した。本大会が伝統芸能の保護、後継者育成による継承の場ともなっている。</p> <p>平成30年11月3日 入場者約1,200人</p>	
		<p>■教職員文化財めぐり</p> <p>甘楽町に新たに赴任してきた教職員を対象に文化財めぐりを実施。地域の貴重な文化財や歴史を授業教材として取り上げるための事業</p> <p>平成30年8月3日 参加者15人</p>	



## 評価軸④-3

## 文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
重点区域における伝統的建造物群保存地区制度の導入に向けた取組み		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	小幡・町屋地区の伝統的建造物が連なるについては、早急に伝統的建造物群調査を行い、作成される保存計画に基づき、各種事業を導入し、計画的に保存を進めるものとする。同時に町独自の補助制度等を制定し、必要な支援を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
重点区域内においては、若い世代でも町屋地区の景観を形成する養蚕農家を修繕して残していきたい考えをもっており、ごく小規模な修繕であるが、景観に配慮した修復を自費で行った事例も見受けられた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	当初調査からの時間経過も考慮しながら、まち並み、建物の現地再調査などを行う必要があり、関係機関の指導のもと住民が主体となった体制を構築したうえで推進していかなければならない。地元代表者との打合せ、協議を行ったが、時間と慎重を要する面があり、当該地区における無電柱化や広告類などの景観整備、中央を北流する雄川堰の石積みや架橋の保存改修整備などを含め、地域住民との対話を基調として取り組んでいく。		
状況を示す写真や資料等			

評価軸⑤-1 効果・影響等に関する報道

Table with columns: 報道等タイトル, 年月日, 掲載紙等. Includes news titles like '甘楽町重文の日本刀紹介', '座繰り体験楽しんで', '名勝の庭園でホテルを観光'.

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財の保存と活用、歴史まちづくり事業のアナウンスに関しては、報道による周知が効果的であるため積極的に情報発信した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

積極的に情報発信したことにより、報道等で取り上げられ歴史的風致に興味を持つ来訪者が増えた。今後は、観光案内ボランティア等の受け入れ態勢の強化・資質の向上を図るとともに必要に応じて研修会等を行う必要がある。

状況を示す写真や資料等

■平成30年4月12日 上毛新聞

Newspaper clipping titled '甘楽町重文の日本刀紹介'. Includes text about the history of swords and a photo of a sword display.

■平成30年4月15日 上毛新聞

Newspaper clipping titled '座繰り体験楽しんで'. Includes a photo of a group of people participating in a traditional activity and text about the experience.

■平成30年6月2日 上毛新聞

Newspaper clipping titled '名勝の庭園でホテルを観光'. Includes text about a tour of a garden and a photo of a garden at night.

■平成30年7月3日 上毛新聞

Newspaper clipping titled '甘楽の「名水百選カード」人気じわり'. Includes text about the popularity of water selection cards and a photo of a person holding a card.

■ 平成30年8月14日 上毛新聞



**歴史遺産カード**  
歴史文化遺産を生かすために、多くの美しい都市の魅力を紹介し、国土交通省関東地方整備局は本県の桐生市と甘楽町を含む両市を「歴史遺産カード」を作成した。23日、各所で配布する。カード表面は各都市の象徴的な風景写真を紹介し、写真上には国の重要伝統的建造物保存地区を重伝建をさらに詳しく歩く。

**桐生 重伝建**  
**甘楽 梁山園**  
国土交通省関東地方整備局

みじは梁山園下止庵のある秋の国指定名勝、梁山園の写真を採用した裏面は、桐生市と甘楽町をそれぞれ紹介している。桐生市は、歴史遺産カードは、重伝建のほか、流鏝、甘楽は梁山園資料と町役場住民課で1人1枚配布する。同整備局は、実際にその地域を訪れ、歴史を感じてほしいとしている。

地域の歴史の継承の維持、向上を図る「歴史遺産カード」の制定10周年を機に、同法の計画認定の都市を連携して企画した。ダムカードや、種類を半方5千枚作った。

桐生市、甘楽町の発行都市は、茨城県水戸市、埼玉県川越市、神奈川県小田原市、鎌倉市、山梨県甲府市、長野県下諏訪町、松本市、東御市、長野市、千曲市。

■ 平成30年9月25日 上毛新聞

**大名庭園に甘楽**  
**名月と灯籠**

した一写真。雲間から明るく月がのぞくと、多くの来場者がカメラに向けた。凌晨では茶席が設けられ、能が上演された。紙芝居や天体観測も行われ、大勢が秋の夜長を楽しんだ。

中秋の名月の「御殿のお月見会」(甘楽町主催)が4日夜、同町小幡の国指定名勝、梁山園で開かれた。虫の音が響く大名庭園に約400個のろうそく灯籠が並べられ、風情ある庭園を月が柔らかに照らした一写真。

茶屋で琴の演奏を聞きながら月を眺めていた高橋千夜子さん(78)は「お琴と満月の美しさが合っていて良かった」とこやかだった。



■ 平成30年10月26日 上毛新聞

**甘楽** 五穀豊穡や家内安全を祈る「ままつり」が甘楽町諏訪神社で開かれ、住民に「はく」と呼ばれる麦飯が振る舞われた。写真。

**麦飯振る舞い 家内安全祈る 諏訪神社**

に1年だけ中止したところ、周辺で疫病が流行したと伝わる。以来、毎年続けられているという。

麦飯は大麦と小豆を混ぜて大きな釜で煮たもので、近くの「二天引婦人の家」で作られた。直後、ままつりのおひつに入れて神社まで運び、神職が拝んだものを配った。ままつりは県の重要無形民俗文化財。起源は古く、安土桃山時代



■ 平成30年10月29日 上毛新聞

**甘楽** 甘楽町の笹森稲荷神社の秋季例祭式典が28日、本殿で開かれた。地域の氏子ら約120人が集まり、厳かな雰囲気の中でおはらいなどの神事が行われた。

代表の小学生2人が「浦安の舞」を奉納し、扇子と剣を使って息の合った動きを披露。写真、関係者らによる玉串奉納も行われた。式典後には「太々神楽」が演じられたほか、舞台上から集まった人に向けて餅やお菓子がまかれた。

**笹森稲荷で古式の神事**



評価軸⑥-1  
その他

項目 評価対象年度 平成30年度

施設整備後の活用と歴史文化啓発に関する事業

計画に記載  
している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

歴史的形成建造物をはじめとする施設整備・活用と「キラッとかんら観光キャンペーン」をはじめとする歴史・文化を基調としたイベント開催で来訪者数・施設利用者数も増加しており、甘楽町の魅力発信による認知度向上に寄与している。また、施設管理やイベントの実施における、ボランティア等の協力者数が増加している。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画の進捗に影響あり  
□計画の進捗に影響なし

観光キャンペーンや各イベント実施にあたっては、住民や来訪者の声を反映させたものとしていく必要があり、意見徴収を継続して行っていく必要がある。

状況を示す写真や資料等

■雛人形展(平成31年3月2日～4月14日)



■昭和中期の町並み写真展  
(歴史的風致形成建造物「有賀茶店蔵」)



■「楽山園友の会」(H24.7結成)ボランティア清掃



法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	平成30年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 甘楽町歴史的風致維持向上計画推進協議会	
会議等の開催日時: 平成31年3月5日	
(コメントの概要)	
<ul style="list-style-type: none"><li>・文化財や地域で引き継がれている行事などが風化しないよう、地域住民と力を合わせて、普及・啓発に努めてもらいたい。</li><li>・今年度、楽山園番所北に案内板が設置されたが、引き続き重点地域における周遊性を高められるよう、範囲を拡大し、案内板の設置等の整備を積極的に行ってもらいたい。</li><li>・織田氏七代の墓周辺の公園整備工事が着々と進んでいるが、指定史跡である織田氏七代の墓の風致を損なわないよう注意して整備していただきたい。</li></ul>	
(今後の対応方針)	
町の歴史的風致の保存と普及のため、地域団体との連携強化を図りながら、情報発信や啓発事業に取り組んでいく。また、重点地域においては、周遊性の向上と良好な景観形成を図りながら整備を進めていく。	